



名城大学農学部植物機能科学研究室と春日井市の連携で  
「サボテンのようにたくましく、with コロナ時代を生き抜こう！」  
ポスターで呼びかける

名城大学農学部植物機能科学研究室は春日井市の協力のもと、新型コロナ禍で生活や経営にいろいろな影響を受けている現状をともに生き抜こう！と応援ポスターを作成しました。

本研究室は「ノパルノ研究室※」として、附属農場が立地する春日井市の特産品であるサボテンを研究する中で、その魅力・可能性をより多くの人に伝えたいと、飲食店との連携による食用サボテンの商品開発や魅力発信に取り組んできました。

今回の取組はその一環で行うもので、サボテンそのものが持つ過酷な環境でも生き抜くイメージと、伊勢湾台風で壊滅的な被害を受けた果樹農家が、その状況を打開するためにサボテン栽培に力を入れたことで春日井市がサボテンのまちとなったストーリーが、今の状況を生き抜く応援メッセージになるのではないかと考え、今回の取り組みに至りました。

ポスターは春日井市の協力を得て、市内の公共施設や飲食店などに掲示するとともに、名古屋市内の主要駅にて掲示いたします。

今後、これまで開発した商品の販売等による地域経済の活性化や魅力発信に取り組んでいきます。

【ノパルノ研究室】

“ノパルノ研究室”の“ノパル”とは、ウチワサボテンと呼ばれる食用サボテンの一種でメキシコ地方では日常食として愛されています。私たちは、厳しい環境でも生き抜く生命力を持つノパルがもっと身近で親しみやすい食べ物になることで、町・生産者・消費者が元気になる未来を研究しています。



【ポスター掲示場所と掲示期間】

掲示場所		期間
春日井市内の公共施設や飲食店など		6月17日～ 順次
駅	地下鉄(妙が 1 線) 梓：名古屋、金山、千種、鶴舞、栄、伏見	6月17日～30日/2週間
	JR：名古屋、金山、千種、鶴舞	6月22日～7月5日/2週間

【問合せ先】

農学部生物環境科学科 植物機能科学研究室

連絡先 TEL：052-832-1151(代) 内線 6274 E-mail：ayumu@meijo-u.ac.jp

現在、学内への入構が制限されています。取材いただける際は、上記、問い合わせ先に一度ご連絡いただければと思います。

